平成25年度 予算に対する各会派の意見表明

（各会派からの原稿どおり掲載しています。）

品川区議会自民党

品川区議会自民党は、平成25年度一般会計、同国民健康保険事業会計、同後期高齢者医療特別会計、同介護保険特別会計の各予算案のすべてについて賛成いたします。平成25年度予算は、東日本大震災から2年余の時が経過する中、自然災害、とりわけ、地震に対する不安。昨年12月の政権交代後、社会情況の明るさは、やや取り戻したものの、それ以前の、「決められない国政」が齎した、世の中の混乱、混沌が増す中で、区民生活に及ぼす影響を最小限に留めるべく、既存事業や業務執行体制等の見直しを行ない、一般会計予算は、都区財政調整交付金は同額予算ながら、全体では、前年度比、約5億6千万増、プラス0.4％の予算編成が行なわれました。区民サービスの充実、向上に向け事業を推進してゆく区の積極性を評価いたします。

最重点課題である防災対策。緊急経済対策、総合的な待機児童対策、高齢期の住まいと安全・安心の3つの緊急対策を着実に実行すべく、財源確保に充分に努めると同時に、これまでの堅実な財政運営の下に培われた基金を活用し、中間点を迎える長期基本計画の具現化に向け取り組みを強める事を望むと共に、本委員会に於いて我が会派の提言が、予算執行に十分に反映される事を期待し、品川区議会自民党の意見表明とします。

品川区議会公明党

品川区議会公明党は、平成25年度品川区一般会計、同国民健康保険事業会計、同後期高齢者医療特別会計、同介護保険特別会計の各予算案に賛成します。

平成25年度一般会計予算は、対前年0.4％増で3年ぶりのプラス予算となりました。

昨年に続き、防災対策の強化を最重点課題と位置づけ、切迫する首都直下地震等への対応として、JT跡地の購入による防災拠点整備や初期消火体制の強化、道路下の空洞調査と補修の実施等が盛り込まれ、子宮頸がんワクチン全額助成やヘルプカードの策定、若者向けの就労支援、地域公共交通会議の設置、いじめ解決の施策等とあわせて会派の提案が多く反映されており高く評価いたします。

今後は、ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がんの3ワクチン定期接種化等、国の動向を踏まえたスピード感のある適切な対応を求めます。

また、平成26年度に予定される長期基本計画の改訂にあたり、人口動向等を踏まえた子育てや高齢者施策の充実と区有施設等のさらなる有効活用を図るため、より具体的な方針を示されるよう要望します。

委員会審査にて会派の委員が取り上げた、防災・子育て・高齢者や障がい者福祉・教育等の提案を今後の施策の充実に、十分反映するよう要望します。

みんな・無所属品川

平成25年度の品川区一般会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療・介護保険の2特別会計の各歳入、歳出予算に賛成いたします。

平成25年度の予算は1千331億5千万円余であり、前年度比約5億6千万円増のプラス0.4％であります。昨年度は、税収が減少する見込みで基金の繰り入れにより財政安定の対策を講じたわけでありますが、平成25年度では、事業見直し等を行い、健全財政を維持する予算編成であることを評価します。

25年度の最重点課題として防災対策に対する様々な事業が計画されております。木密・不燃化対策が本格化いたします。都の動向を注視し、迅速にメリット、デメリットを含め情報を区民の皆様に伝え、住民との双方の建設的な前向きな検討をしながらきめ細やかな対応を願います。さらに防災の基本は、自助がまず第一であり、自分の身は自分で守ること、加えて共助、自分たちの街は自分達で守るという具体的に行動が取れる対策と啓発を強化していただきたい。

継続される3つの緊急対策では、経済状況に応じた迅速な対策、将来の人口動向も見据えた待機児童対策、高齢期の安全・安心な住まいの拡充に合わせ、何時までも元気で住み続けられるよう介護予防策の強化を要請いたします。

民主・改革ネット

品川区議会民主・改革ネットは平成25年度品川区一般会計、同国民健康保険事業会計、同後期高齢者医療特別会計、同介護保険特別会計の各予算案に賛成します。平成25年度予算案は、前年度比0.4％増となりましたが未だ区政を取り巻く環境は厳しいものであります。その中で、これまで培った財政力を活かし必要な施策を着実に実現するため、最重要課題として防災対策の強化を取り上げるとともに、3つの緊急課題として緊急経済対策、総合的な待機児童対策、高齢期の住まいと安心対策に取り組む姿勢を評価します。

東日本大震災から2年が経過しました。この震災から私たちは多くの課題と教訓を得ました。また、昨年東京都から公表された首都直下地震等の被害想定において、改めて木造密集地域の危険性も示されました。改訂された品川区地域防災計画を基に、区民の理解を得ながら、さらなる安全・安心のまちづくりに取り組むことを求めます。教育施策においては、新たにいじめ防止対策が示されましたが、形だけではない実効性のあるものになるよう求めます。

本予算特別委員会を通してわが会派の所属委員が指摘・提案した各項目を真摯に受け止め、25年度予算の執行にあたられることを強く要望して、民主・改革ネットの意見表明とします。

日本共産党品川区議団

一般会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療・介護保険の各特別会計に反対します。

◆特養ホーム3ヶ所増設、若者健診制度創設を歓迎します。◆防災を口実に補助29号線などの道路建設と超高層ビルの再開発に97億円も投入。大企業、ゼネコン応援の予算です。一方、住宅耐震化の助成増額なし。街頭消火器はわずか2丁目、310万円のみ。焼失率32％の被害想定から区民の命と財産を守る予防第一の防災対策にすべきです。

◆国保料は、算定方式変更による軽減措置を今年度で終了し、低所得者に大幅値上げ。一方、初めて一般財源を削減し保険料負担に転化。高すぎる国保料は値下げすべきです。◆希望する認可保育園に入れなかった子は632人。希望する子が全員入れる認可保育園の増設を求めます。4月からの保育料値上げは中止すべきです。◆商店街の装飾灯電気代補助は恒久対策に。東電の値上げ分の増額と、LED化の支援を求めます。◆基金を毎年当初見込みより100億円以上積み増し。670億円の基金は、暮らし応援、福祉充実にこそ使うべきです。◆いじめ解決は、子どもの命、心身を守ることを最優先に。学校選択制を中止し、教職員の多忙化解消の条件整備を。区長と教育委員会の懇談会は、行政からの不当な介入をしないよう求めます。